

# 不登校・ひきこもり（おとな）の家族学習会

## ♡しゃべるの会♡

同じ立場のご家族どうしが“しゃべる”ことで  
心理と対応のあり方について“心のシャベル”で掘り下げる

- ◎民間非営利研究機関「ヒューマン・スタジオ」が開催している、テキストと担当者付きの家族会。スタジオが配信しているメールマガジン『ごかいの部屋～不登校・ひきこもりから社会へ～』の新しい号をテキスト（対象号）に使用。筆者である担当者に直接質問したり、テキストの内容にとらわれずにご家族どうしで自由に語り合ったりすることができます。
- ◎今回は、本人が親や関係者のどのような接し方に影響を受けてどうなるかを論じたテキスト（対象号）を読み上げたあとフリートークを行います。
- ◎同じ立場のご家族どうし、自由に話し合っただけで今後の接し方を考えてみませんか。

**ご家族  
限定！  
（当事者の  
方はご遠  
慮くださ  
い）**

### 第43回（ひきこもり編）・第44回（不登校編）

日時／会場：第43回＝7月14日（土）13時30分～16時30分／横浜市教育会館 第2研修室  
第44回＝7月29日（日）14時15分～17時15分／かながわ労働プラザ 第8会議室

対象号：230

号（2018.6）

参加：おおむね

20歳の上下または学校在籍の有無でお選びください。

定員：10名

（申込先着順）

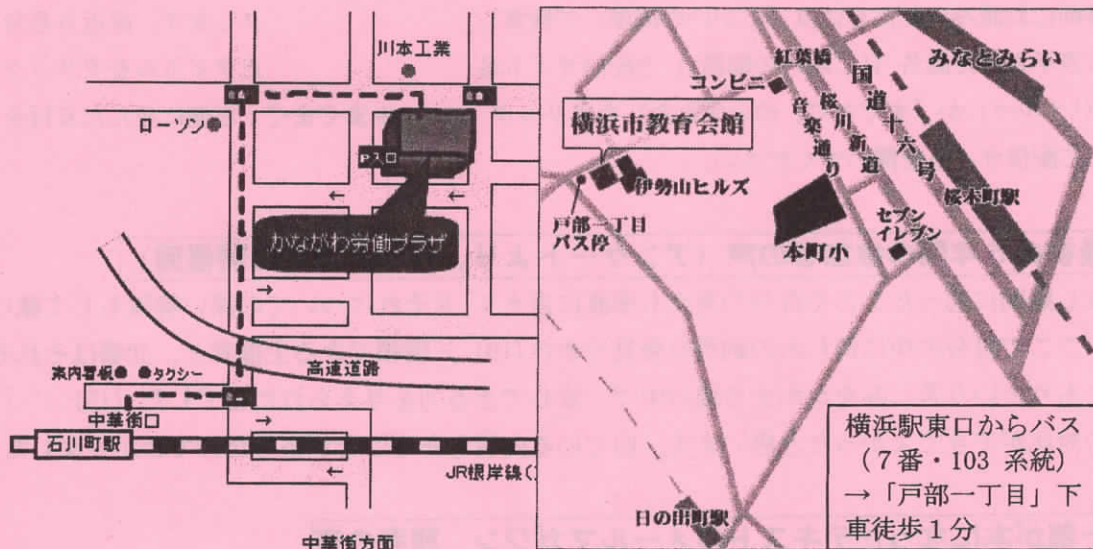
費用：おひとり

500円

申込み：電話・

メール・FAX

（裏面申込欄使用）のいずれかで下記に（当日に参加が可能になった方は電話でお問い合わせください）



横浜駅東口からバス  
（7番・103系統）  
→「戸部一丁目」下  
車徒歩1分

担当者：丸山康彦（ヒューマン・スタジオ代表兼相談員／『ごかいの部屋』筆者／元当事者）

主催：ヒューマン・スタジオ（〒251-0031 藤沢市鶴沼藤が谷3-12-28 悠生館）

問合せ先：TEL 0466-50-2345・FAX 0466-54-7608・メール husta@nifty.com

★本欄で2名様までお申し込みいただけます。なお空欄がある場合は受け付けません。

※「ひきこもり編」「不登校編」のいずれかにチェック印を記したうえ、すべての欄にご記入ください。  
 ※「連絡先」欄には、緊急連絡先に使用して差し支えないものを丸で囲んでいただいたうえ、電話またはFAXの場合は番号を、メールの場合はアドレスをご記入ください。

<input type="checkbox"/> ひきこもり編 <input type="checkbox"/> 不登校編		連絡先 (TEL FAX MAIL)	
お名前	様	ご	〒
	様	住所	
			お子様の年齢
			歳

**全体要項 (詳細は参加者の皆様のご要望を踏まえ決定します)**

**内容:** 対象号の読み上げと補足説明→自己紹介→質疑応答とフリートーク→アンケート記入 (対象号は用意しますので事前にお読みいただかなくても安心してご参加いただけます)

**会場:** 神奈川県内の会館 (今年度も横浜と湘南で交互に開催する予定です)

**担当:** 不登校のため高校を7年かかって卒業。大学卒業後、高校講師・ひきこもりを経て1999年個人事務所を開設し、研修と活動を積む。2001年ヒューマン・スタジオ設立。相談業務のほか多彩な関連業務が好評で、特にメールマガジンは2014年4月に出版された。

~~~~~次回の「対象号」と「参考号」を事前にお読みくださる方へ~~~~~

テキストとして使用するメールマガジン『ごかいの部屋』は、バックナンバーをすべて公開しています。事前にお読みいただくには「ごかいの部屋」で検索して表示された誌名(「ごかいの部屋」と配信サイト名(「メルマ」か「まぐまぐ」のいずれか)をクリックして配信サイトを開いてください。

**【配信サイト別バックナンバー閲覧方法】**

- \*メルマ: 右側のカレンダーで太字の日付をクリックします。直近5号分は下側に表示されたタイトルをクリックして見られます。
- \*まぐまぐ: 右側に並んだ日付をクリックします。

**最初の5年間の参加者の声 (アンケートより。カッコ数字は開催回)**

少し疑問に思ったことや自分の考えも率直に言えて、又それについての深い解説もして戴け良かったです(5) / ここで自分の中に何らかの納得を発見できた(10) / 信頼できる主催者と、立場はそれぞれ違ってもひきこもりという苦しみをかかえる親の中で、安心できる力を与えられた会でした(15) / 「ひきこもりの方との対比ができてよかったです。似ている内容もあることがあらためてわかりました」(20)

**一部が本になったテキストのメールマガジン、読者の声**

いろいろな本を読みましたが『ごかいの部屋』がいちばん参考になります(親) / 自分が否定されていないと感じさせてくれます(元当事者) / 経験者が書いているもののなかでは出色の出来(教育学者)

次年度のご案内>2018年度は年4回のペースに戻って4, 7, 10, 1の各月に開催予定。テキストの内容と参加者の顔ぶれが毎回変わる新鮮な会で、大切なものを掘り当ててみませんか。